



令和4年度

# 水稻の生育概況 vol.1



埼玉県マスコット  
「コバトン」

(令和4年6月2日現在)  
埼玉県農業技術研究センター

## 要約

- ◎気象概況：4月は平年に比べ平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は並であった。  
5月は平年に比べ平均気温は並、降水量は並、日照時間は多かった
- ◎生育状況：平年に比べ草丈は小さく、莖数は少なく、葉位の展開はほぼ平年並となっている。
- ◎今後取るべき技術対策
  - ・育苗：トンネル等の温度管理に注意。苗の老化が見られる場合は追肥を実施。
  - ・水管理：浅水管理で分げつの発生を促し、有効莖が確保できたら早めの中干しを実施。
  - ・病虫害防除：いもち病（葉いもち）の常発地域では特に留意し、その他の病虫害も考慮し薬剤防除に努める。

## 1 気象の概況

4月の平均気温は、第1、4半旬を除いて平年より高く、特に第2、3、5半旬は平年よりかなり高かった。月平均では平年より1.3℃高かった。降水量は、第1、5、6半旬にまとまった降雨があり、月合計では平年比148%と多かった。日照時間は、第1、3半旬は平年より少なく、第6半旬はかなり少なかった。月合計では平年比90%だった。

5月の平均気温は第3、6半旬は平年より高く、第1、4半旬は平年より低く、特に第1半旬は平年より1.4℃低かった。月平均では平年並であった。降水量は第3、6半旬は平年より多かったが、第4半旬は、平年より少なく月合計では平年比89%であった。日照時間は第3半旬は平年より少なかったが、第1、6半旬は平年より多く、月合計では平年比113%であった。

## 2 生育の概況

### (1) センター内生育相

#### ア 早期栽培（5月2日植 コシヒカリ）

育苗期間は高温傾向だったが、緑化直後の低温の影響と期間の後半にあたる4月第6半旬の寡照から、草丈が平年比72%、風乾重が平年比85%と苗の生育は劣った。充実度は平年より0.18高かったが、草丈が低かったためと考えられた。

移植後は、低温や風による植え傷みにより活着は遅れ、移植後20日の莖数と風乾重は平年比57%とかなり小さかった。その後、移植後30日にか

けての多照により、生育は回復傾向であるが、莖数は平年比 89%、風乾重は平年比 66%と平年に比べて小さかった。

イ 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

苗は順調に生育し、草丈は平年比 92%、風乾重は平年比 100%と良好であった。

移植時の強風等による植え傷みもなく、活着は良好であった。

## （2）県内全般

田植作業は天候に恵まれ、早期栽培、早植栽培とも平年並に進んだ。

田植以降の生育も天候に恵まれ、早期・早植栽培とも苗の活着は良好である。また、草丈、葉位、莖数とも平年並の生育を示している。

## 3 今後の生育予測

### （1）気象予測

気象庁が6月2日に発表した関東甲信地方の1か月予報では、6月は冷たい空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の気温は低い見込みが50%、降水量は平年並が40%、日照時間も平年並が40%である。

また、5月24日発表の関東甲信地方の3か月予報では、7月の天候は期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は平年並または高い確率ともに40%である。

8月の天候は南からの湿った空気の影響を受ける時期があるため、平年に比べ晴れの日が少ないとしている。

### （2）生育予測

ア 早期、早植栽培

向こう1か月の平均気温は低いく、日照時間は平年並と予想され、生育がやや緩慢になると見込まれる。

イ 普通期栽培

向こう1か月の平均気温は低く、日照時間は平年並と予想されるため、やや緩慢な生育が見込まれる。

麦あと栽培では、前作の麦類が登熟期間の定期的な降雨などにより、ゆっくりとした登熟をしているため、収穫作業が平年に比べやや遅れ気味の進捗となっている。

このため、田植作業の遅延による苗の老化に注意する。

## 4 今後取るべき技術対策

### （1）早期、早植栽培

ア 施肥

葉色を判断しながら生育に応じて適宜追肥を行う。

イ 病害虫防除

埼玉県病害虫防除所が5月26日に発表した令和4年度病害虫発生予報第

2号（6月予報）では、5月中旬までの移植水稻ではいもち病（葉いもち）の発生量の予報は「並」、ヒメトビウンカの発生量の予報は「並」である。

#### ウ 水管理

有効茎が確保できたら小ひびが入る程度に中干しを実施する。

#### エ 雑草防除

雑草が多発した場合は、草種等に応じた除草剤（中期、後期剤）を選択し、適期散布を行う。

### （2）普通期栽培

#### ア 育苗

苗代の温度管理に注意する。原則として追肥は行わないが、移植の遅れ等により肥切れが見られた場合は落水して、箱当たり0.5g（N成分）程度の硫安等を500mlの水に溶かしてジョウロ等で散布し、葉についた肥料を清水で洗い流す。

#### イ 病虫害防除

埼玉県病虫害防除所が5月26日に発表した令和4年度病虫害発生予報第2号（6月予報）では、5月下旬以降の移植水稻では、いもち病（育苗期）の発生量の予報は「並」、ヒメトビウンカの発生量の予報は「並」である。

これから移植を行う水稻において、いもち病の常発地では登録のある苗箱施用剤の施用を心掛ける。

#### ウ 雑草防除

気温が高い時期になり雑草の生育が早まるため、田植え後雑草の葉齢を見ながら適期に適剤の散布を行う。

#### 「イネ縞葉枯病防除マニュアル」について

イネの重要病害であるイネ縞葉枯病の防除技術を開発するため、農技研では農研機構や他県と共同研究を行い、県内向けに「イネ縞葉枯病の防除マニュアル（埼玉県版）」を作成しました。また、農研機構では、共同研究全体の研究成果をまとめた「イネ縞葉枯病の総合防除マニュアル」をホームページで公開しています。

◎イネ縞葉枯病の防除マニュアル（埼玉県版 PDF版）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/104191/ine-shimahagare-manyuaru.pdf>

◎イネ縞葉枯病の総合防除マニュアル（農研機構 Web版）

[https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/rsv\\_web/manual/start](https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/rsv_web/manual/start)

解析・考察に用いた具体的数字

1 気象表（熊谷気象台日別測定値から集計）

4月											
半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	8.9	11.5	13.3	17.4	5.0	6.2	56.5	15.9	24.8	33.5	
2	16.1	12.5	22.9	18.4	10.0	7.1	0.0	17.4	44.0	33.3	
3	16.8	13.4	23.3	19.5	11.2	8.2	10.0	16.3	31.4	32.4	
4	13.0	14.4	17.9	20.4	8.6	9.3	14.5	14.2	21.5	31.2	
5	19.1	15.3	25.3	21.3	12.6	10.1	20.5	13.5	37.0	31.6	
6	17.2	16.2	19.7	22.3	10.4	10.9	32.5	13.5	18.6	33.2	
平均	15.2	13.9	20.7	19.9	10.1	8.6	合計 134.0	90.7	177.3	197.1	

5月											
半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	15.7	17.1	21.9	23.2	9.6	11.8	6.5	13.5	50.3	32.9	
2	17.2	17.8	22.8	23.6	12.6	12.7	8.0	14.4	32.2	31.0	
3	19.2	18.3	24.2	24.0	15.4	13.4	29.0	16.5	18.6	30.1	
4	18.1	19.0	23.6	24.8	13.2	14.1	2.0	19.7	32.5	31.3	
5	20.0	19.8	25.8	25.6	15.7	14.9	14.0	21.7	35.0	32.0	
6	21.8	20.5	27.8	26.1	16.2	15.8	43.0	24.9	47.8	37.6	
平均	18.8	18.8	24.4	24.6	13.8	13.9	合計 102.5	115.1	216.4	192.0	

注)半旬数値は熊谷地方気象台日別測定値から集計。ただし、月平均・合計は気象台値。  
平年値は1991～2020年の気象台値。

2 早期栽培（5月2日植 コシヒカリ）

(1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
9.1	12.6	72	2.2	2.1	0.1	1.10	1.30	85	1.21	1.03	0.18

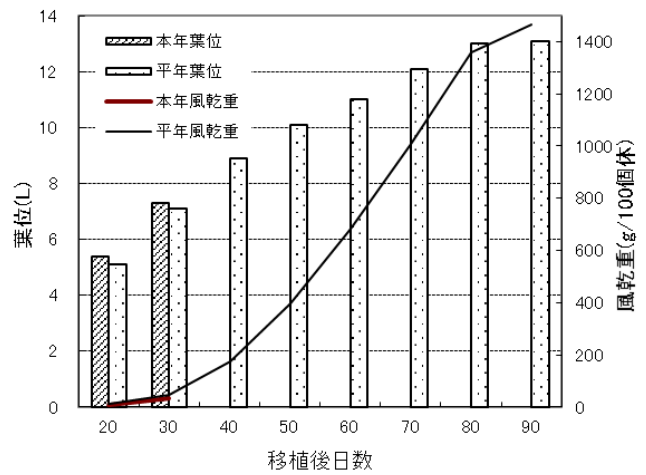
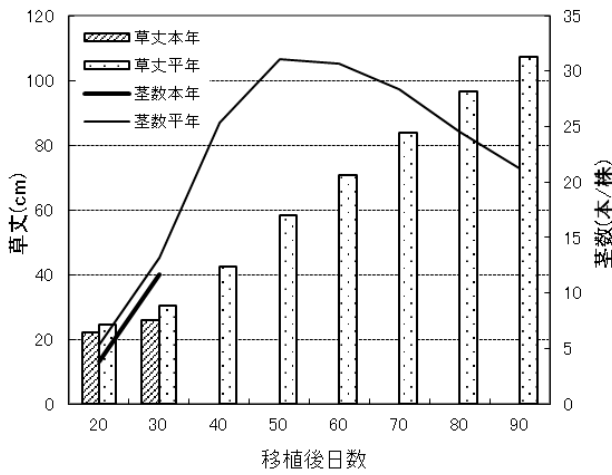
注)平年値は平成11年～令和3年の平均(H22を除く)。平年比は%

(2) 本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
20	22.2	24.6	90	3.8	5.3	57	5.4	5.1	0.3	6.8	11.8	57
30	25.8	30.4	85	11.7	13.2	89	7.3	7.1	0.2	31.7	48.3	66

注)平年値は平成11年～令和3年の平均(H22を除く)。平年比は%

### (3) 生育経過

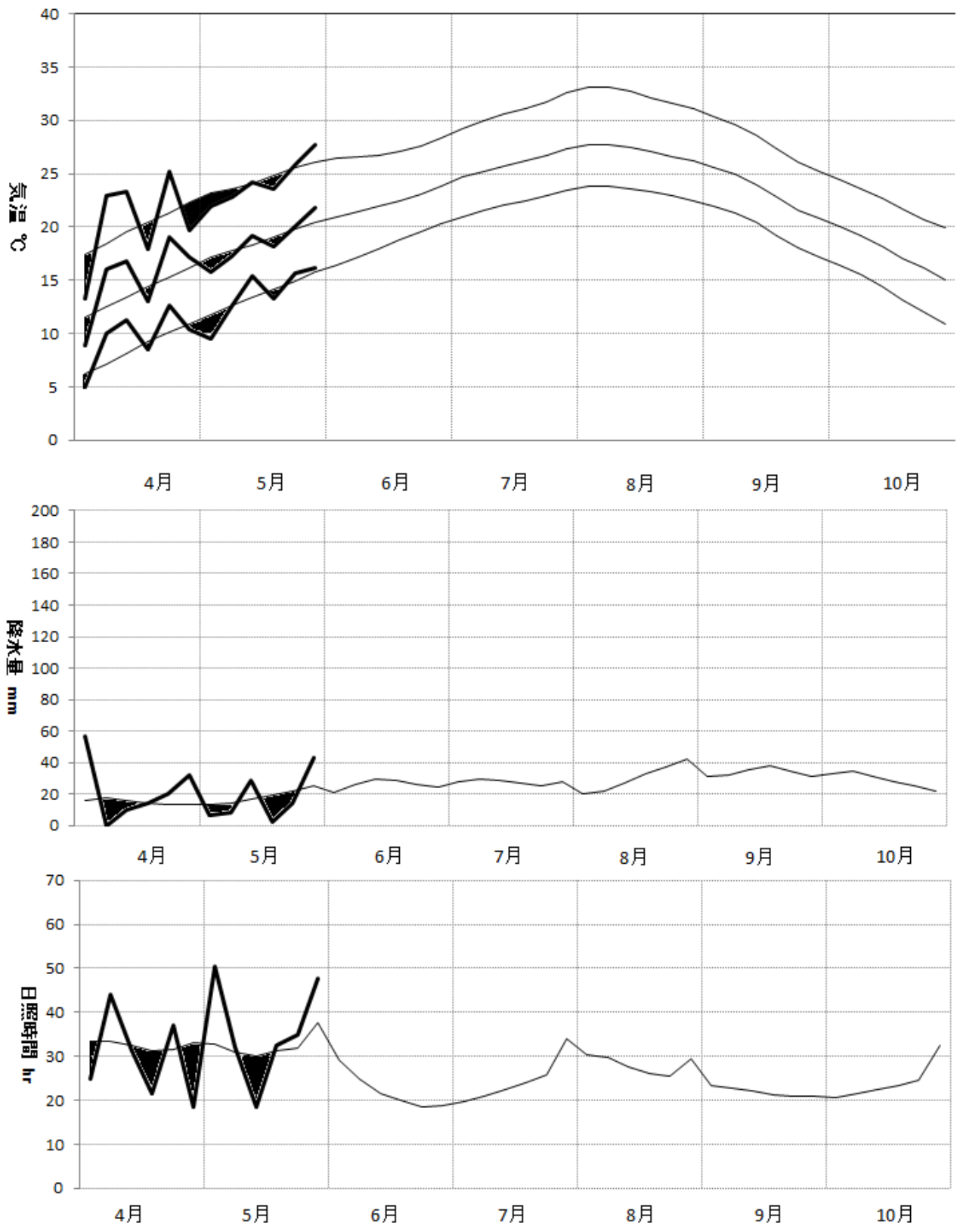


## 3 早植栽培 (5月20日植 彩のかがやき)

### (1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
11.8	12.9	92	2.5	2.2	0.3	1.40	1.40	100	1.18	1.09	0.10

注) 平年値は平成12年～令和3年の平均。平年比は%  
ラウンドの関係により、平年差や平年比は一致しない場合がある。



令和 4 年夏作期間気象図  
 (熊谷気象台日別測定値から作成)